

経営比較分析表（令和6年度決算）

北海道 八雲町

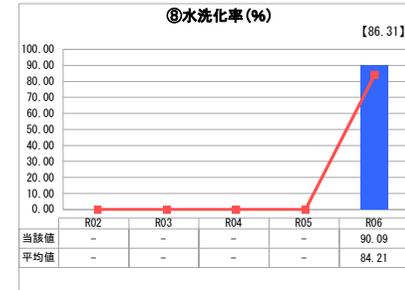
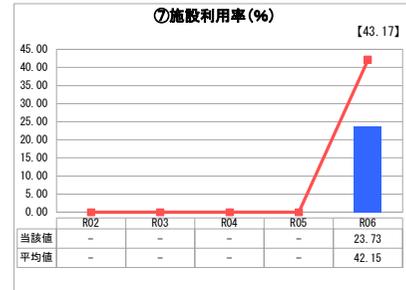
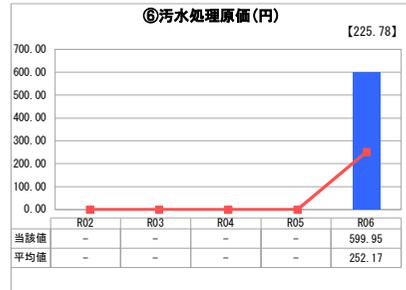
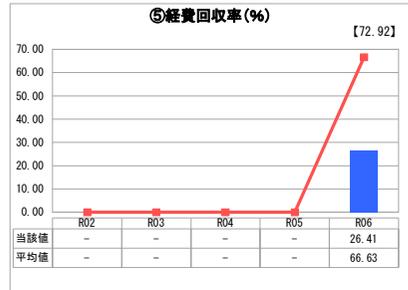
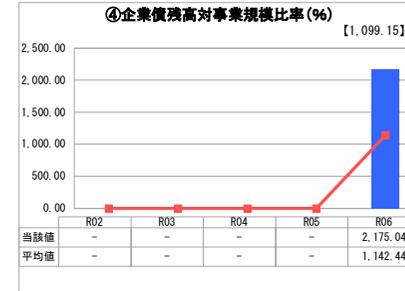
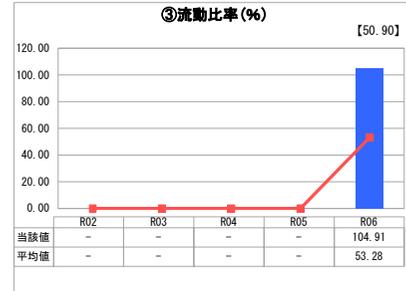
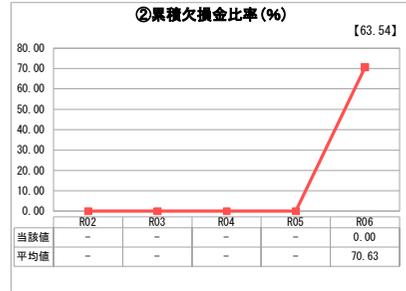
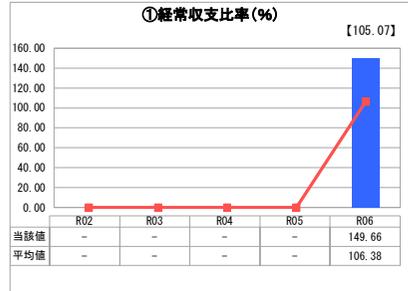
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	88.37	11.54	98.60	3,630

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
14,514	956.08	15.18
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
1,686	1.97	855.84

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

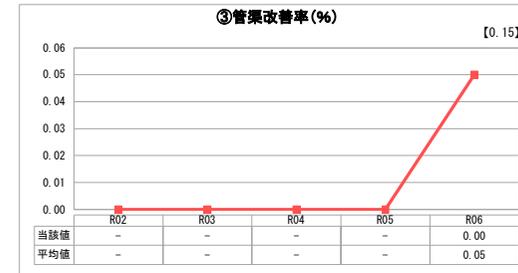
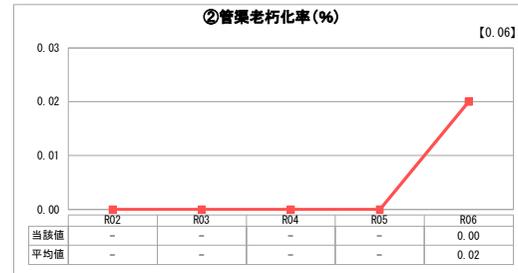
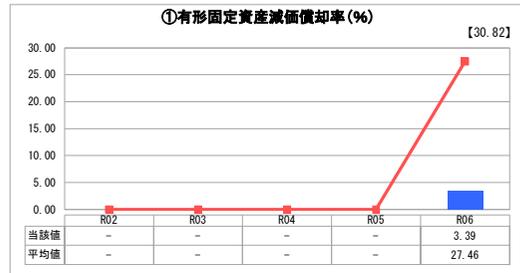
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率については、100%を大きく超えており、一見、健全な経営に見えるが、繰入金によるものが大きいため、繰入金が増加した場合大きく数値は低下すると推測される。
 ② 累積欠損金比率については、欠損金が発生していないため、0%となっている。
 ③ 流動比率については、100%を上回っており、現時点では良好な状態である。
 ④ 企業債残高対事業規模比率については、施設の大規模更新により、多額の起債借入が発生しており、類似団体平均値を大きく上回っている。今後もストックマネジメントに基づき、計画的に建設改良事業を進め、起債借入額を平準化し、企業債残高の抑制に努めていく必要がある。
 ⑤ 経費回収率については、類似団体平均値を大きく下回っており、今後の人口減少も勘案するとコスト削減と収入増が強く求められる。
 ⑥ 汚水処理原価については、類似団体平均値を大きく上回っており、さらなる維持管理費の削減等による経営改善が必要である。
 ⑦ 施設利用率については、類似団体平均値を下回っており、施設規模の見直しが必要である。
 ⑧ 水洗化率は類似団体平均値を上回っているが、さらなる水洗化率向上の取り組みが必要である。以上のことから、施設規模の見直しを含めた維持管理費の削減等による抜本的な経営改善を行い、かつ水洗化率向上と使用料改定による収入増を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

供用開始後23年が経過しているが、管渠については、いまだ耐用年数を経過していないため、現時点では老朽化しているとは言えない。
 しかし、機械・設備については耐用年数の15年を経過しており、随時更新を進めている。
 今後は施設全体が徐々に老朽化していくことが予想されるため、計画的に機械設備等の更新やマンホールポンプ所の更新を行っていく予定である。

2. 老朽化の状況



全体総括

水洗化率の更なる向上と使用料改定による収入の増を図るとともに、施設規模の見直しを含めた維持管理費の削減等、経営改善が必要である。
 また、将来的に人口減少による使用料収入の減、施設老朽化による更新費用の増大など、厳しい経営状況が予想されることから、常に先を見据えた計画的な経営を行っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。